FUJIIRYOKI 家庭用

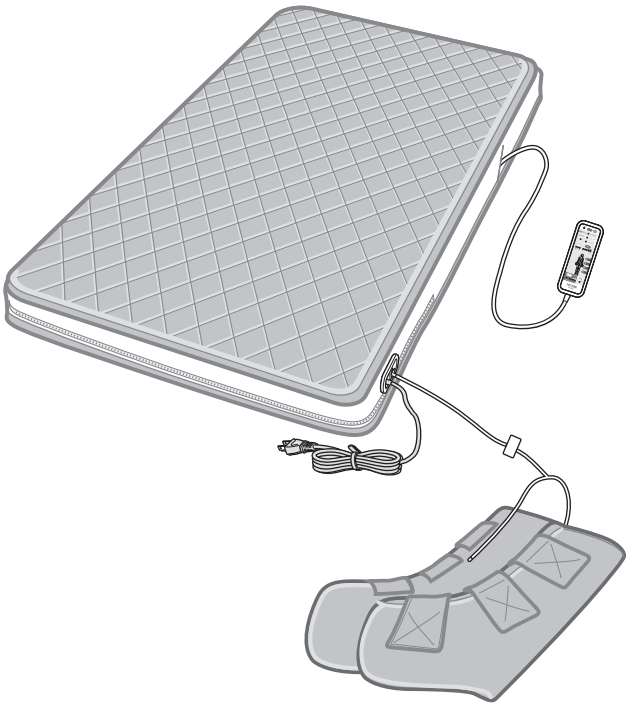
のびて爽快

エアーマッサージ器

品番：DF-323

取扱説明書 添付文書

医療機器認証番号：225AKBZX00094000
類別：機械器具　77　バイブレーター
管理医療機器
一般的名称：家庭用電気マッサージ器(コード 34662000)



もくじ

安全上のご注意 …… 2
特長 …… 6
各部のなまえとはたらき …… 8
マッサージの種類と内容 …… 10
ご使用の前に …… 12
マッサージを使うとき …… 14
マッサージを使い終わったら …… 19
ヒーターを使うとき …… 20
除湿を使うとき …… 22
あとかたづけ …… 23
お手入れ …… 24
保管 …… 26
仕様 …… 26
修理サービスを修理する前に …… 27
愛情点検 …… 27
保証とアフターサービス …… 裏表紙

使用目的・効能または、効果

あんま、マッサージの代用
一般家庭で使用すること

- このたびは、当社のエアーマッサージ器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- **ご使用の前に、「安全上のご注意」（2～5ページ）を必ずお読みください。**
- お読みになった後は、いつでも見ることのできるところに必ず保管してください。
- 保証書は、「お買い上げ日・ご購入先名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 包装に使用しているダンボールなどは分別のうえ、リサイクルにご協力をお願いいたします。

安全上のご注意 必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と内容は、次のようになっています。
  いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡や重傷を負う可能性のある内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、* 物的損害が発生する可能性がある内容を示します。

＊ 物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

〈絵表示の例〉

	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）を示します。 （左図は、分解禁止）
	●記号は、強制（必ず守ること）を示します。 （左図は、電源プラグをコンセントから抜く）

- 本取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることのできるところに、必ず保存してください。

お願い
- 本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
  詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

⚠ 警告

禁 止

ヒーターは設定温度「高」で長時間使用しない
また、同一箇所に長時間触れさせない

比較的低い温度（40 ～ 60℃）でも、長時間皮膚の同じ箇所に触れていると、低温やけどのおそれがあります。

低温やけどについて
- 低温やけどは、皮膚の深部までおよび、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴です。
- 万一、赤い斑点や水ぶくれができたときは、直ちに専門医の診察を受けてください。

禁 止

お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない
また、幼児を近づけない

感電やけがのおそれがあります。

禁 止

浴室など湿気の多い場所で使用したり、保管しない

感電や火災・故障・カビの原因になります。

禁 止

次の人は、使用しない

身体に異常が起こる場合があります。
- 医師からマッサージを禁じられている人
  （例：血栓症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む）など）

分解禁止

分解・改造・修理をしない
また、内部カバーのファスナーを開けない

火災や感電・けがの原因になります。

⚠警告

禁 止

交流 100V 以外の電源は、使用しない

火災や感電の原因になります。

禁 止

不安定なベッド、台、布団などの上で、使用しない

事故や故障の原因になります。
凹凸のない水平な場所で使用してください。

禁 止

本体を身体に巻き付けたり、折りたたんだり、丸めた状態で使用しない

低温やけどや事故・故障の原因になります。

禁 止

破損している電源コードや電源プラグを使用しない

感電やショート、火災の原因になります。
破損している場合は、ご購入先または当社のお客様相談窓口に修理を依頼してください。

禁 止

電源プラグは確実に根元まで差し込み、ゴミを付着させない

感電やショート、発火の原因になります。

禁 止

除湿使用時は人やものが乗った状態では使用しない

ヒーターの温度設定が「高」の固定になるため、長時間の使用で低温やけどのおそれがあります。

禁 止

本体や脚カフのカバーを故意に外したり、破いたり、切り取った状態で使用しない

カバーが外れたり破れた状態で使用すると、衣服や髪が巻き込まれ、けがのおそれがあります。

禁 止

お子様を本体の上で遊ばせない

けがや故障の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

気をつける

次の人がヒーターを使用するときは、まわりの人が特に気をつける

低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。

- お年寄り、ご病人、ご自分で操作ができない人
- 皮膚や皮膚感覚の弱い人
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人
- 深酒・疲労の激しい人
- 血行障害（糖尿病など）の人
- 医師より注意を受けている人

確認する

使用前には、必ず布団のカバーが破れていないか確認する（どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。）

カバーが破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。

医師に相談

次の人は、使用前に医師に相談する

身体に異常が起こる場合があります。

- ペースメーカなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
- 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
- 心臓に障害のある人
- 温度感覚喪失が認められる人
- 妊娠中、または出産直後の人
- 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- 皮膚に創傷のある人
- 安静を必要とする人
- 体温 38℃以上（有熱期）の人
  （例：急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期。衰弱しているとき。）
- 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）を骨折している人、ねんざ（捻挫）、肉離れなどの急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
- 背骨（脊椎）に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人
- 椎間板ヘルニア症の人
- 貧血症の人
- かつて治療を受けたところ、または疾患部へ使用する人
- 高血圧の人
- 不整脈の人
- 喘息の人
- 睡眠時無呼吸症候群の人
- その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人

プラグを抜く

動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先または当社のお客様相談窓口に点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

プラグを抜く

おねしょ等で本体が濡れたときは、すぐに電源プラグを抜く

漏電やショートなどによる火災・感電の原因になります。ご購入先または当社のお客様相談窓口に点検・修理を依頼してください。

⚠注意

禁 止

駆動部や制御部に頭を乗せて使用しない

気分が悪くなったり、怪我の原因になります。
頭部側と足元側を逆にして使用しないでください。

禁 止

リモコンコード、電源コード、脚カフ接続ホースに足を引っ掛けない

けがのおそれがあります。

禁 止

電源プラグや電源コードを破損させない

感電や火災、故障の原因になります。

- 傷つけない　● 破損させない　● 加工しない
- 無理に曲げたり、引っ張らない
- ねじらない　● 束ねない
- 重いものを載せない　● 挟み込まない

禁 止

湯たんぽ、電気こたつ、電気あんか、その他の暖房器具や布団乾燥機などと併用し、高温になる状態で使用しない

火災や変形、変色、故障の原因になります。
本体内部の保護装置が動作し、通電を停止することがあります。
この場合、約２時間後に復帰します。

禁 止

本体を干すときは、もの干し竿などに干さない

落下によるけがや故障の原因になります。
干す場合は、日の当たらない風通しのよい場所に広げて干してください。

禁 止

本体、リモコン、脚カフに水やお茶をこぼさない

感電や故障の原因になります。
万一、こぼしたときは使用を中止し、ご購入先または当社のお客様相談窓口に点検･修理を依頼してください。

禁 止

駆動部、制御部、バイブ、リモコンを踏みつけたり、腰掛けたりしない

けがや破損・故障の原因になります。

禁 止

本体の上に飛び乗ったり、遊んだりしない また、人が立った状態では使用しない

転倒してけがの原因になります。

禁 止

本機をご使用になりながら他の治療器を同時に使用しない

事故や体調をくずすおそれがあります。

禁 止

ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない

火災や故障の原因になります。

禁 止

ヒーターはペットの暖房用には使用しない

ペットが本体やコードを傷めた場合、火災の原因になります。

禁 止

本体、リモコン、脚カフに重いものを置いたり、落としたり、強い衝撃を与えない

感電や火災･故障の原因になります。

禁 止

ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、殺虫剤をかけない

感電や引火の原因になります。

禁 止

頭部に髪飾りなどの硬い物をつけて使用しない

けがのおそれがあります。

禁 止

マッサージ、ヒーター、除湿の目的以外には使用しない

故障や事故の原因になります。

禁 止

マッサージ中にうつぶせで使用しない

内臓を圧迫する使用方法はしないでください。
事故や体調不良の原因になります。

禁 止

２人以上で使用しない

事故やけがのおそれがあります。

禁 止

脚カフを脚マッサージ以外の目的で使用しない

故障やけがの原因になります。

⚠注意

禁 止

脚カフを装着せずに脚マッサージを動作させない
事故やけがのおそれがあります。

禁 止

脚カフ接続ホースがねじれたり、折れた状態で使用しない。
故障やけがの原因になります。

禁 止

脚カフを脚に装着した状態で、立ったり、歩いたりしない
また、眠らない
けがのおそれがあります。

禁 止

食後すぐや、飲酒後は使用しない
気分が悪くなったり、事故やけがのおそれがあります。

禁 止

本体に人や物を乗せて移動しない
気分が悪くなったり、事故やけがのおそれがあります。

禁 止

付属品以外は使用しない
故障の原因になります。

禁 止

本体や脚カフを洗濯しない
故障や感電・火災の原因になります。
本体カバーが汚れた場合は、本体カバーをはずし、ドライクリーニングをしてください。
脚カフは、ドライクリーニングできません。

禁 止

マッサージの使用中は眠らない
無意識での使用は、体調不良の原因になります。

確認する

操作スイッチ、タイマーなどが正常に動作することを確認してから使用する
事故や故障の原因になります。

医師に相談

使用中、身体に異常を感じたときや、使用しても効果が現れない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する
守らないと事故や体調不良のおそれがあります。

装着する

脚カフは必ず両足に装着した状態で使用する
事故やけがのおそれがあります。

確認する

しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する
事故やけがのおそれがあります。

15分以内

マッサージの使用時間は、1 回 15 分以内にする
長時間のご使用は筋肉や神経を傷めることがあります。1 日の使用は 30 分以内にしてください。

強さを弱める

マッサージが強いと感じたときは強さを弱めるか、使用を中止する
強すぎるマッサージは筋肉や神経を傷めることがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがのおそれがあります。

プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
ほこりや湿気で絶縁劣化状態になり、漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電や、ショートして発火の原因になります。

プラグを抜く

停電のときは直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く
再通電されたとき事故の原因になります。

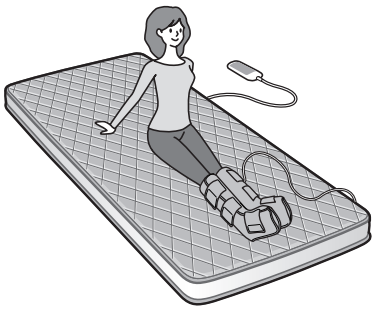
特　長

エアーマッサージとバイブをコンパクトに内蔵した寝具タイプのマッサージ器です。
３種類の「自動コース」、各部位の「部位選択」、「バイブ」があります。

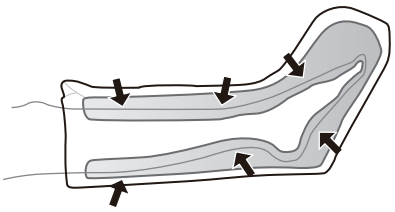
自動コース
- 疲労回復
- ストレッチ
- おやすみ前

部位選択
- 肩
- 腰
- 背
- 脚

バイブ
- 遅
- 中
- 速

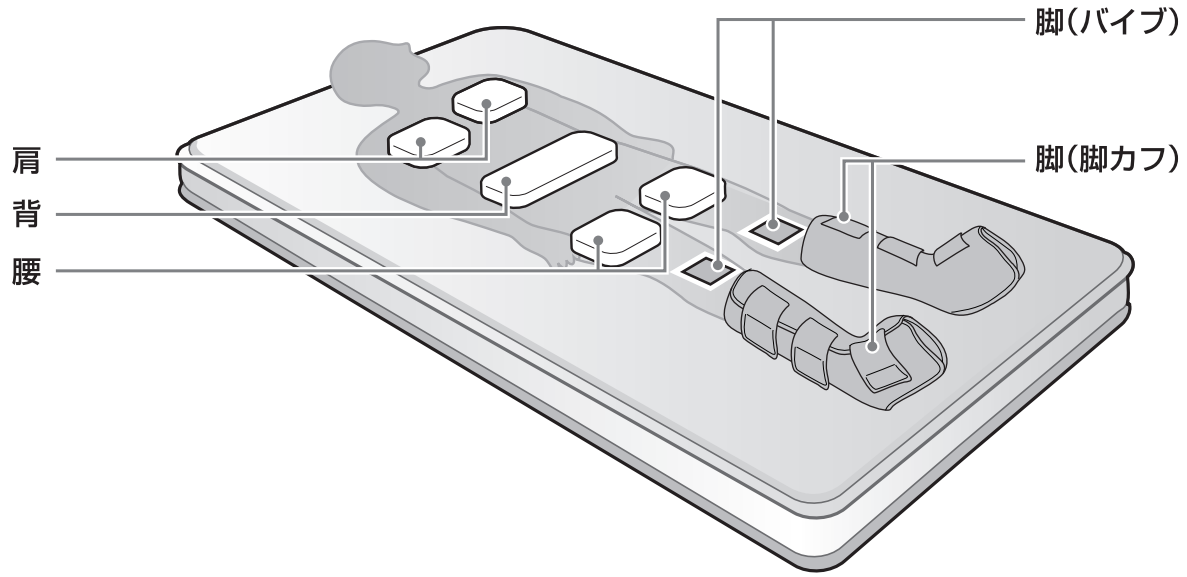


ふくらはぎから足先をすっぽり覆う、脚カフ付きです。



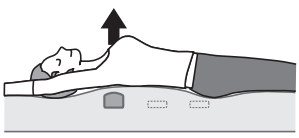
エアーバッグによる圧迫開放動作を繰り返します

肩から足先まで対応のエアーマッサージ器です。



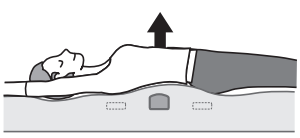
エアーバックの多彩な動きで全身をマッサージします。

肩ストレッチ



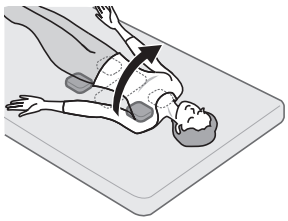
上側2箇所でストレッチ

背ストレッチ



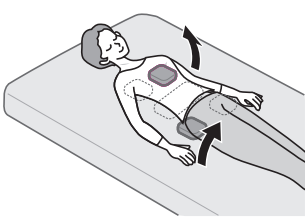
下側1箇所でストレッチ

背筋ひねり



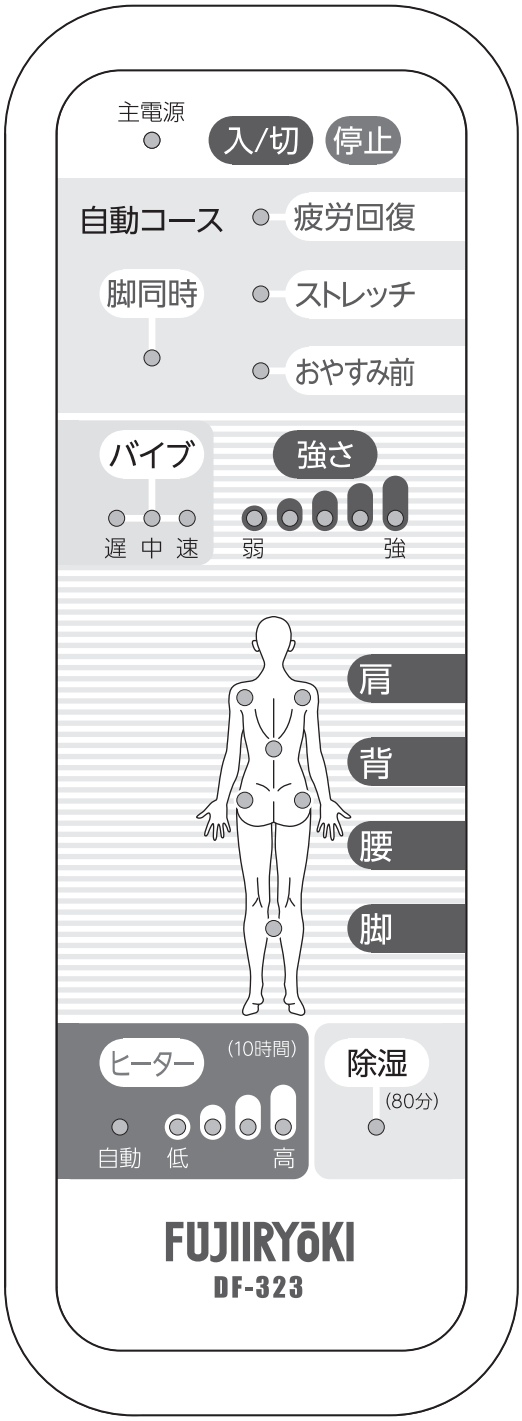
片側全体がひねられます

肩腰対角ひねり

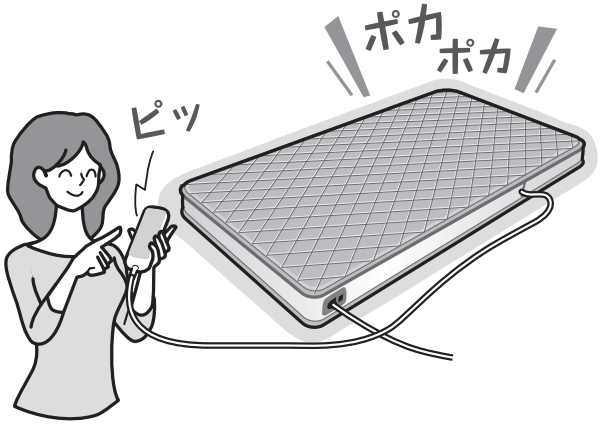


肩と腰を対角にひねります

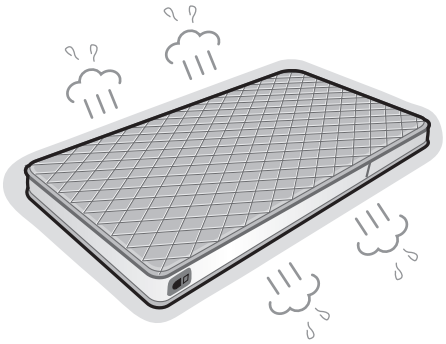
表示が見やすく、使いやすいリモコンです。



温度選択ができるヒーター付きです。



寝具内に蓄積した湿気を寝具外へ排出する
除湿機能付きです。



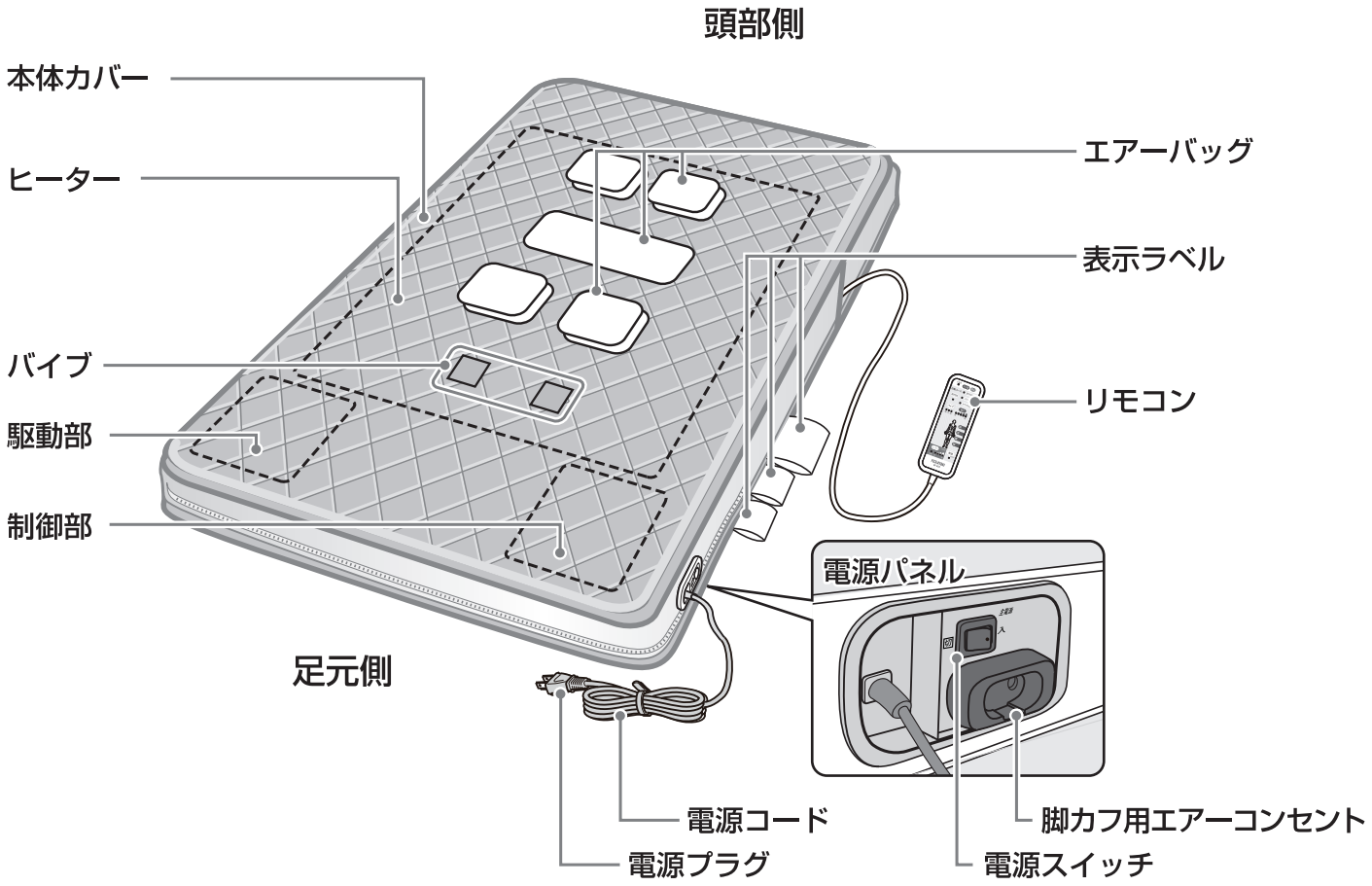
使用目的、効能又は効果

●あんま、マッサージの代用
●一般家庭で使用すること

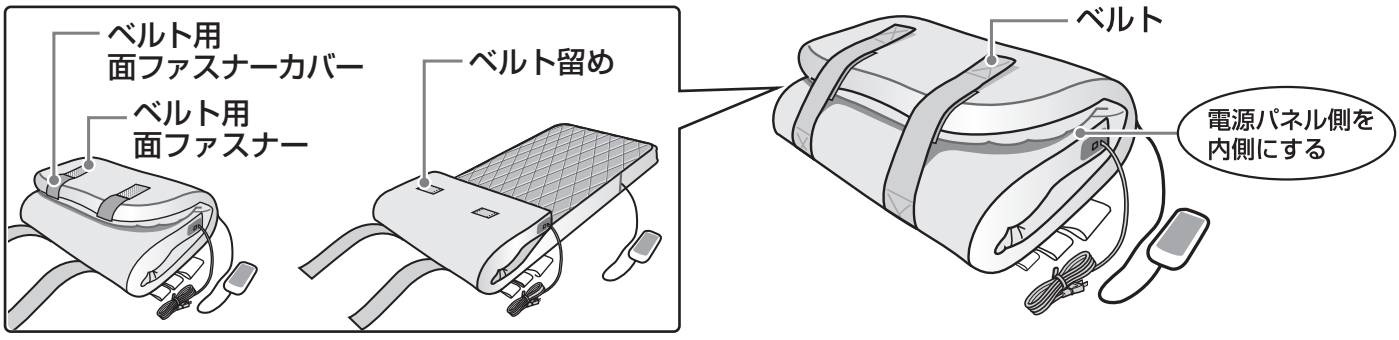
各部のなまえとはたらき

本体

使用状態

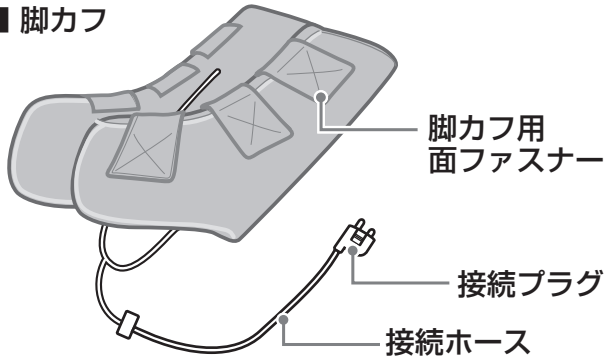


折りたたんだ状態



付属品

■ 脚カフ



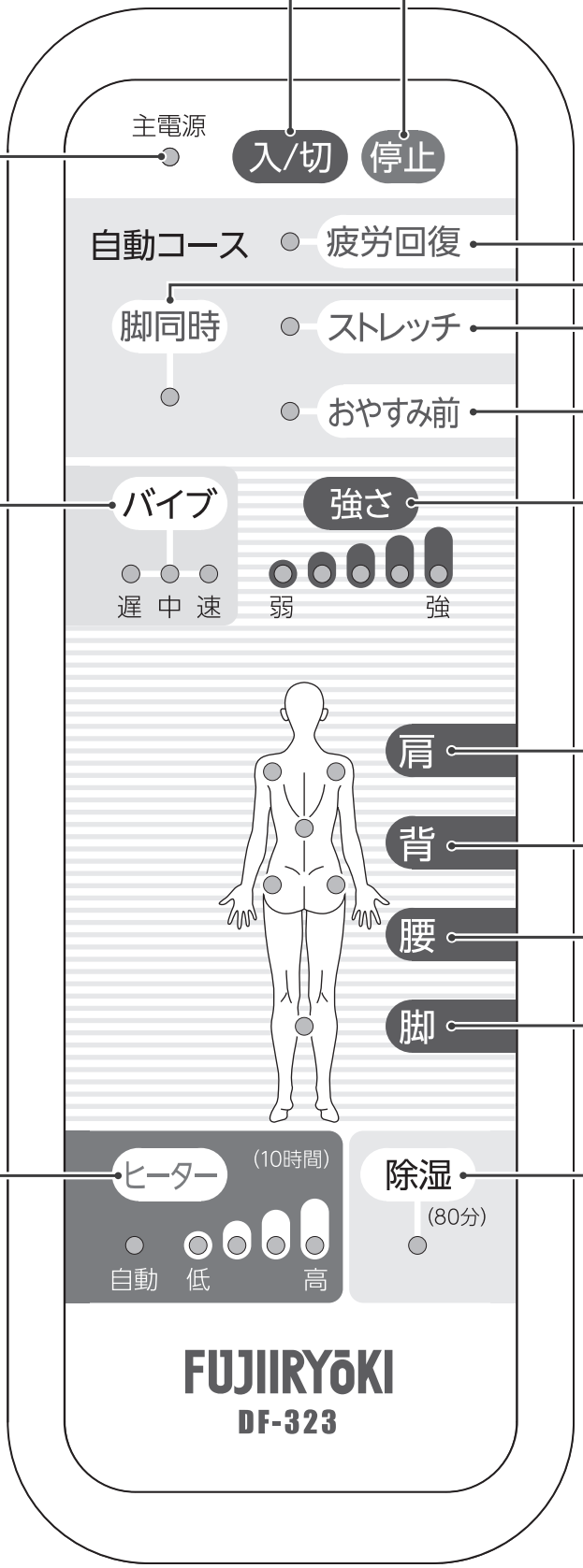
■ 専用シーツ（CF-17SC）
この専用シーツはご家庭で洗濯できます。
※消耗品

リモコン

入 / 切ボタン
エアーマッサージの「入」「切」を切り替えます。
また、バイブを「切」にできます。
P14 P16

主電源ランプ
電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを入れると点灯します。
P12

停止ボタン
ただちにすべての動作が止まります。



自動コース

自動コース選択ボタン
「疲労回復」「ストレッチ」「おやすみ前」の 3 種類のコースが選べます。
選択されたコースの表示ランプが点灯します。

脚同時ボタン
自動コース中に、脚同時(脚カフ)を「入」「切」できます。
脚同時を選択すると脚同時の表示ランプが点灯します。
P14

バイブ

バイブボタン
押すごとにバイブの速さを「遅」「中」「速」「切」と設定できます。
選択されたバイブの速さの表示ランプが点灯します。
P18

強さ

強さ選択ボタン
押すごとに 5 段階のマッサージ強さが選べます。
選択された強さの表示ランプが点灯します。
P15 P17

部位選択

部位選択ボタン
「肩」「背」「腰」「脚」の 4 種類から選べます。
選択された部位の表示ランプが点灯します。
P16

ヒーター

ヒーターボタン
押すごとに温度が「自動」「低」「中」「中高」「高」「切」と設定できます。
選択されたヒーター設定温度の表示ランプが点灯します。
P20

除湿

除湿ボタン
除湿の「入」「切」を切り替えます。
除湿が動作すると除湿の表示ランプが点灯します。
P22

マッサージの種類と内容

「自動コースマッサージ」「部位選択マッサージ」「バイブマッサージ」があります。

脚同時（自動コース時）

脚同時

自動コース中、ボタンを押すたびに、**脚同時の「入」「切」**が切り替わります。

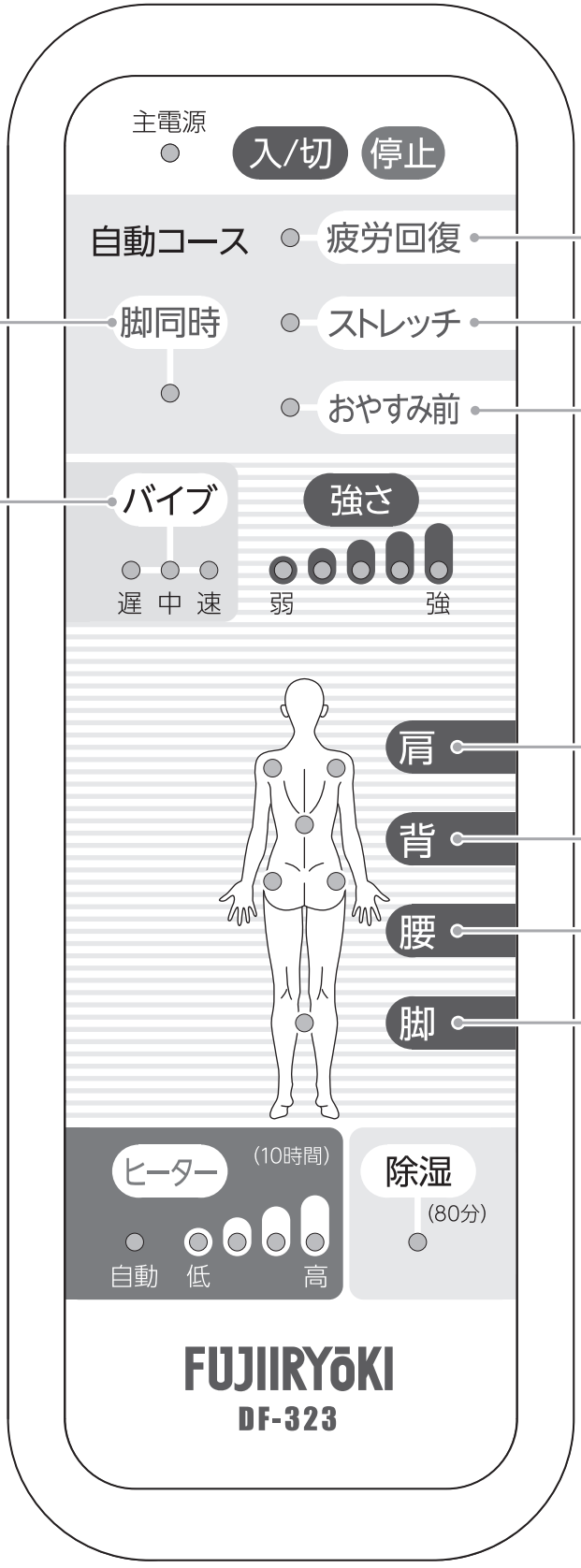
脚カフを装着し、ふくらはぎから足先までのマッサージをします。
自動コース中に、「脚同時」ボタンを押してください。
※「おやすみ前」コースでは選択できません。
※脚カフを脚カフ用エアーコンセントに接続していない場合、選択できません。

バイブマッサージ

バイブ

遅 中 速

ボタンを押すたびに、**バイブの「遅」「中」「速」「切」**が切り替わります。



マッサージ使用時のお願い

マッサージは、30分を超えて使用しないでください。
この製品には過熱保護装置があり、30分以上の連続使用や高温の場所での使用の場合、マッサージの動作が弱くなったり、停止する場合があります（このときリモコンの表示はそのままです）が故障ではありません。このようなときは電源コードを抜き、製品が冷えて、過熱保護装置が解除されるまで約2時間お待ちください。

自動コースマッサージ

自動コースボタン：「疲労回復」「ストレッチ」「おやすみ前」からお好みのコースをお選び頂けます。

疲労回復

全身のコリ、疲れに
肩から足先まで、全身をマッサージするコースです。
※脚マッサージをする場合は、「脚同時」を選択してください。

ストレッチ

身体を伸ばしたいとき、お目覚め時にも
腰を中心に持ち上げやひねりをメインとした全身ストレッチコースです。
※脚マッサージをする場合は、「脚同時」を選択してください。

おやすみ前

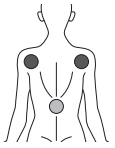
リラックスしたいとき、おやすみの前に
肩から腰にかけてゆっくりした動きとひねりを組合せたコースです。
※脚マッサージをすることができないコースです。

部位選択マッサージ

部位選択ボタン：「肩」「背」「腰」「脚」からお好みの部位をお選び頂けます。
お好みの部位を組み合わせてもご使用頂けます。

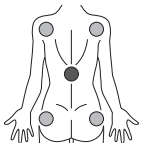
肩

肩のコリが気になる方に
エアーにより、「肩」を重点的にマッサージします。



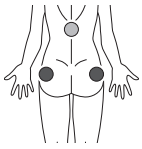
背

背のコリが気になる方に
エアーにより、「背～腰」を重点的にマッサージします。



腰

腰のコリが気になる方に
エアーにより、「腰～尻」を重点的にマッサージします。



脚

脚のコリが気になる方に
エアーにより、「ふくらはぎ～足先」を重点的にマッサージします。
※脚カフを脚カフ用エアーコンセントに接続していない場合、選択できません。

ご使用の前に

- 折り曲げたまま使用しないでください。
- しばらく使用していなかった場合、正常に動作することを確認してから使用してください。

⚠警告

禁 止

不安定なベッド、台、布団などの上で、使用しない

事故や故障の原因になります。
凹凸のない水平な場所で使用してください。

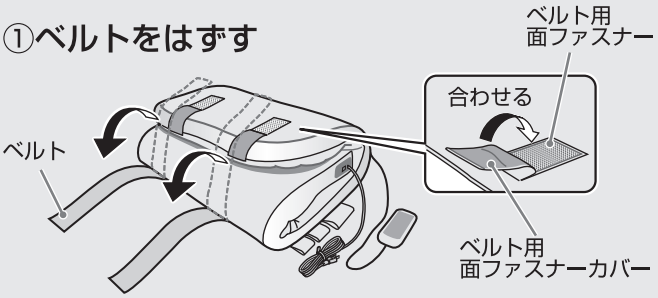
禁 止

浴室など湿気の多い場所で使用したり、保管しない

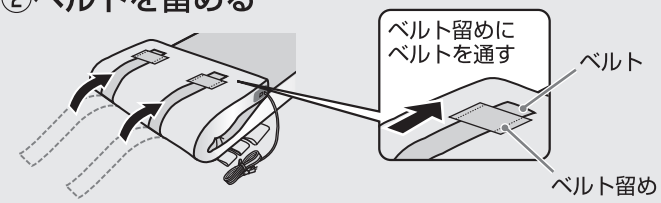
感電や火災・故障・カビの原因になります。

1 本体を広げる

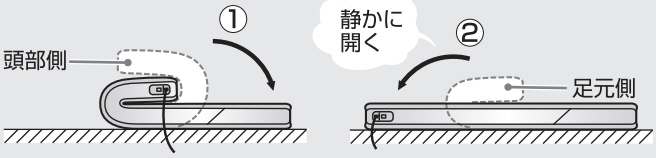
①ベルトをはずす



②ベルトを留める



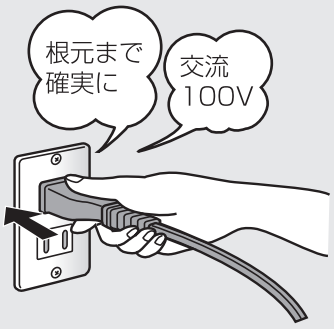
③上向きに寝たときに、電源コードのある方を足元にする



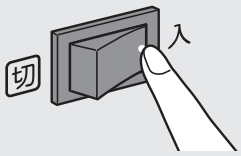
- 開梱時や長時間の収納後使用するとき、本体カバー表面の折り曲げ部に深いシワが発生する場合があります。広げた状態で使用することにより徐々に軽減されます。

2 電源を入れる

①電源プラグをコンセントに差し込む



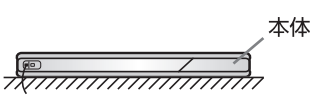
②電源スイッチを入れる



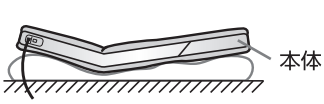
- リモコンの主電源ランプが点灯します。

設置場所について

- 本体は凸凹のない平らな場所に直接、水平に置いてください。
  不安定な場所に置くと、マッサージの動作に支障をきたして故障の原因となります。



平らな場所



不安定な状態

- 無理に折り曲げた状態では使用しないでください。

確認する

使用前には、必ず布団のカバーが破れていないか確認する（どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。）

カバーが破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。

⚠注意

禁 止

ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない

火災や故障の原因になります。

禁 止

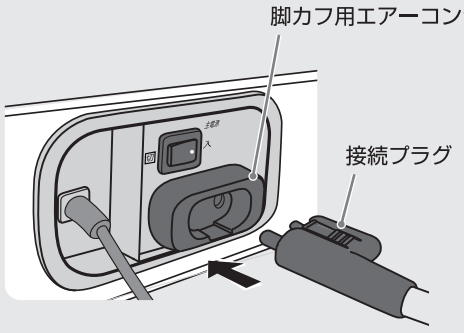
２人以上で使用しない

事故やけがのおそれがあります。

3 脚カフを接続する（脚カフを使用する場合）

①接続プラグを脚カフ用エアーコンセントに差し込む

- 接続プラグは、”ピッ”と音が鳴るまで、しっかり差し込みます。
- 脚のマッサージをするときは、かならず脚カフを接続してください。

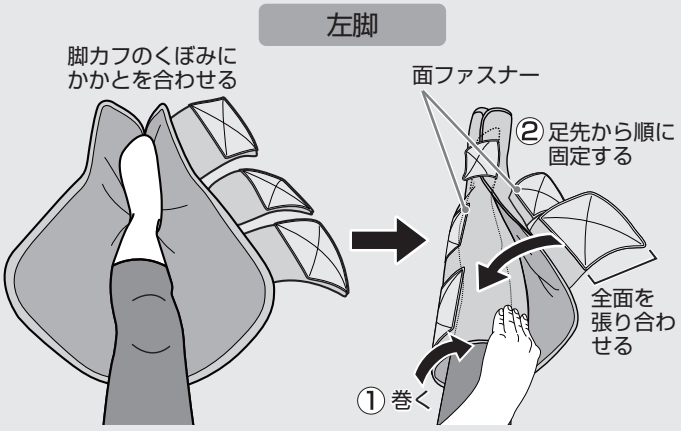


お願い

- ホースは丁寧に取り扱ってください。
  ぶつけたりして衝撃を与えたり、折り曲げたりしますと、破損の原因になります。

4 本体に横たわる

①脚カフを広げて、脚をおき、脚に巻いて面ファスナー３ヶ所で固定する



- 右脚も左脚と同様に装着してください。
- 面ファスナーが脚の外側になるように装着してください。
- 貼り付ける側の面ファスナーの全面が重なるように、必ず3ヶ所ともきっちり張り合わせてください。
- 面ファスナーを固定する位置によってエアーマッサージの強さが異なります。お好みの位置に調節してください。
- 脚カフは、ゆとりをもって脚に巻きつけてください。
- 脚カフは、椅子に座った状態でも使用できます。

②本体の頭側を確認して本体に横たわる

マッサージを使うとき（自動コース）

- マッサージをするときは、本体の中央に寝てください。
  正常に動作しなかったり、故障の原因となります。
- 除湿と同時に使用できません。

⚠注意

15分以内 **マッサージの使用時間は、1 回 15 分以内にする** 長時間のご使用は筋肉や神経を傷めることがあります。1 日の使用は 30 分以内にしてください。	禁 止 **脚カフを脚マッサージ以外の目的で使用しない** 故障やけがの原因になります。
医師に相談 **使用中、身体に異常を感じたときや、使用しても効果が現れない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する** 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。	禁 止 **脚カフを装着せずに脚マッサージを動作させない** 事故やけがのおそれがあります。
プラグを抜く **使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く** ほこりや湿気で絶縁劣化状態になり、漏電火災の原因になります。	装着する **脚カフは必ず両足に装着した状態で使用する** 事故やけがのおそれがあります。

1 エアーマッサージを開始する

入/切 **「入 / 切」ボタンを押す**

- ブザーが ”ピッ” と鳴り、コース「疲労回復」、強さ「弱」のランプが点灯します。
- ボタンを押さずに約 3 秒経過すると、自動的にコース「疲労回復」、強さ「弱」でマッサージが始まります。

2 お好みのエアーマッサージコースを選ぶ

疲労回復
ストレッチ
おやすみ前

「疲労回復」、「ストレッチ」または「おやすみ前」ボタンを押し、お好みのコースを選ぶ

- 選択したコースの表示ランプが点灯し、マッサージを行っている部位の表示ランプが点滅します。
- コース間の切り替えに数秒かかることがあります。

コース「疲労回復」表示	コース「ストレッチ」表示	コース「おやすみ前」表示
疲労回復（点滅） ストレッチ おやすみ前	疲労回復 ストレッチ（点滅） おやすみ前	疲労回復 ストレッチ おやすみ前（点滅）

3 脚マッサージをする

脚同時 **「脚同時」ボタンを押し、脚カフを動作させる**

- 「脚同時」は、自動コースの「疲労回復」「ストレッチ」動作中のみ使用できます。
- 脚カフを接続していない場合、「脚同時」は選択できません。

脚同時「切」表示　　脚同時「入」表示

メモリー機能について

- マッサージ中に「入/切」ボタンを押し、途中で終了した場合、またはタイマー15分で終了した場合、下記の内容が記憶されます。
  - ・前回使用したコース
  - ・マッサージの強さ
  - ・脚同時の「入」「切」

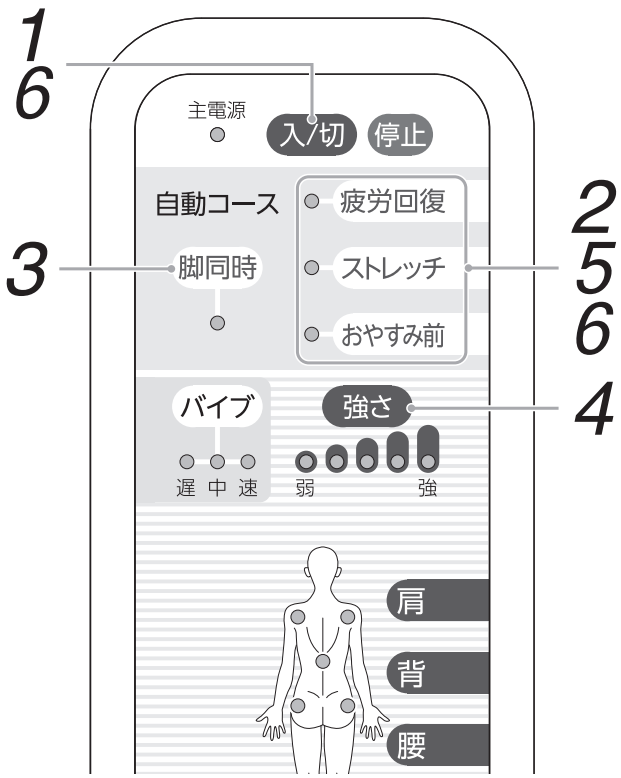
  再度「入/切」ボタンを押し、マッサージを始めると、前回使用したコースでマッサージが開始します。

メモリー機能が働かない場合

- 「停止」ボタンを押し、終了した場合。
- 電源スイッチを「切」にした場合。
- 電源プラグをコンセントから抜いた場合。

タイマー機能について

- マッサージ開始後、約15分で自動的にマッサージが停止します。



4 エアーマッサージの強さを選ぶ

強さ 「強さ」ボタンを押し、お好みの強さを選ぶ

- 「強さ」ボタンを押すたびに「弱」→「強」の順に5段階で切り替わります。
  但し、切り替えに数秒かかることがあります。
- 選択した「強さ」の表示ランプが点灯します。
- 「強さ」はあらかじめ「弱」に設定されています。

強さ「弱」表示

強さ「強」表示

5 途中でコースを変更したいとき

疲労回復
ストレッチ
おやすみ前

「疲労回復」、「ストレッチ」または「おやすみ前」ボタンを押し、お好みのコースを選ぶ

- 動作時間のタイマーは、継続されます。
- マッサージの強さは、継続されます。
- 脚同時の「入」「切」は、「疲労回復」「ストレッチ」コースを選択しているときのみ、継続されます。

6 途中でマッサージを終了したいとき

入/切 「入 / 切」ボタンを押す

- マッサージのすべてのランプが消え、止まります。

疲労回復
ストレッチ
おやすみ前

または、動作しているコースのボタンを再度押す。

マッサージを使うとき（部位選択）

- マッサージをするときは、本体の中央に寝てください。
  正常に動作しなかったり、故障の原因となります。
- 除湿と同時に使用できません。

⚠注意

15分以内 **マッサージの使用時間は、1 回 15 分以内にする** 長時間のご使用は筋肉や神経を傷めることがあります。1 日の使用は 30 分以内にしてください。	禁 止 **脚カフを脚マッサージ以外の目的で使用しない** 故障やけがの原因になります。
医師に相談 **使用中、身体に異常を感じたときや、使用しても効果が現れない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する** 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。	禁 止 **脚カフを装着せずに脚マッサージを動作させない** 事故やけがのおそれがあります。
プラグを抜く **使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く** ほこりや湿気で絶縁劣化状態になり、漏電火災の原因になります。	装着する **脚カフは必ず両足に装着した状態で使用する** 事故やけがのおそれがあります。

1 エアーマッサージを開始する

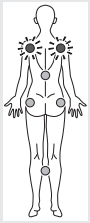
入/切 **「入 / 切」ボタンを押す**

- ブザーが ” ピッ” と鳴り、コース「疲労回復」、強さ「弱」のランプが点灯します。
- ボタンを押さずに約 3 秒経過すると、自動的にコース「疲労回復」、強さ「弱」でマッサージが始まります。

2 お好みのエアーマッサージモードを選ぶ

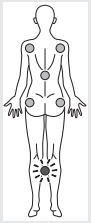
肩 腰 背 脚 **「肩」「背」「腰」「脚」ボタンを押し、お好みの部位を選ぶ**

- 選択した部位の表示ランプが点灯し、マッサージを行っている部位の表示ランプが点滅します。
- お好みの部位を組み合わせてもご使用いただけます。
- 脚カフを接続していない場合、「脚」は選択できません。


「肩」表示

「背」表示

「腰」表示


「脚」表示

メモリー機能について

- マッサージ中に「入/切」ボタンを押し、途中で終了した場合、またはタイマー15分で終了した場合、下記の内容が記憶されます。
  - ・前回使用した部位
  - ・マッサージの強さ
  - ・脚同時の「入」「切」

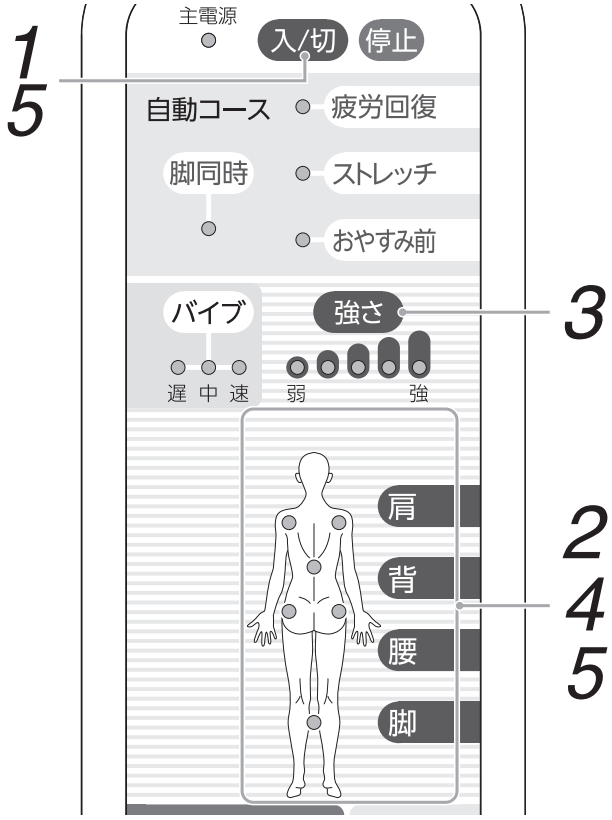
  再度「入/切」ボタンを押し、マッサージを始めると、前回使用した部位でマッサージが開始します。

メモリー機能が働かない場合

- 「停止」ボタンを押し、終了した場合。
- 電源スイッチを「切」にした場合。
- 電源プラグをコンセントから抜いた場合。

タイマー機能について

- マッサージ開始後、約15分で自動的にマッサージが停止します。



3 エアーマッサージの強さを選ぶ

強さ 「強さ」ボタンを押し、お好みの強さを選ぶ

- 「強さ」ボタンを押すたびに「弱」→「強」の順に5段階で切り替わります。
  但し、切り替えに数秒かかることがあります。
- 選択した「強さ」の表示ランプが点灯します。
- 「強さ」はあらかじめ「弱」に設定されています。

強さ「弱」表示

強さ「強」表示

4 途中で部位を変更したいとき

肩 **腰** **背** **脚** 「肩」「背」「腰」「脚」ボタンを押し、お好みの部位を選ぶ

- マッサージの強さは、継続されます。
- 動作時間のタイマーは、継続されます。

5 途中でマッサージを終了したいとき

入/切 「入/切」ボタンを押す

- マッサージのすべてのランプが消え、止まります。

肩 **腰** **背** **脚** または、動作している部位のボタンを再度押す。

マッサージを使うとき（バイブ）

- **マッサージをするときは、本体の中央に寝てください。正常に動作しなかったり、故障の原因となります。**
- **バイブのみ、またはエアーマッサージ、ヒーターと同時に使用できます。**
- **除湿と同時に使用できません。**

お願い

- 畳や床の状態により振動や音が気になる場合は、マットなどのクッションを下に敷いてください。

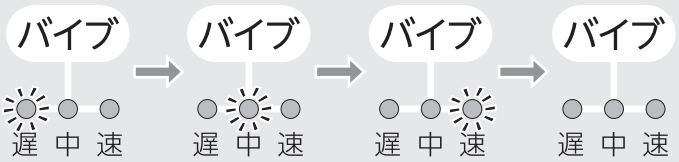
タイマー機能について

- **マッサージ開始後、約15分で自動的にマッサージが停止します。**

1 バイブを開始する

バイブ **「バイブ」ボタンを押し、お好みのバイブの速さを選ぶ**

- 「バイブ」ボタンを押すたびに「遅」→「中」→「速」→「切」の順に切り替わります。
- 選択した速さの表示ランプが点灯します。



お知らせ

- バイブにはメモリー機能はありません。

2 途中でバイブを終了したいとき

バイブ **「バイブ」ボタンを押し、「切」にする**

- バイブのランプが消え、止まります。
- エアーマッサージとバイブを併用中に、エアーマッサージを止めるとバイブも止まります。

マッサージを使い終わったら

⚠注意

プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

ほこりや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

1 ただちにすべての動作を止めたいとき

停止 「停止」ボタンを押す

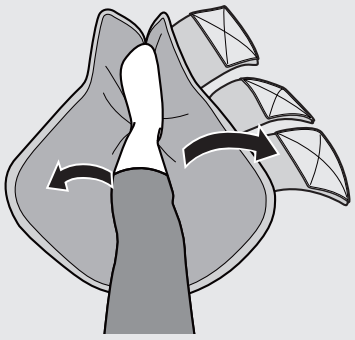
お知らせ

- 「停止」ボタンを押すと、すべての動作が止まります。

2 脚カフをはずす

- 3ヶ所の面ファスナーをはずして、脚カフをはずしてください。

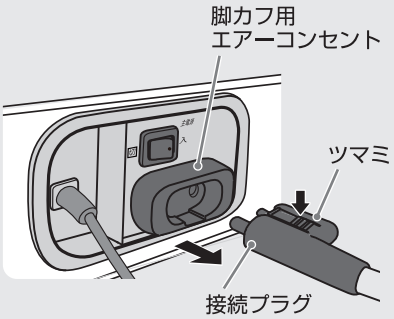
左脚



- 右脚も左脚と同様にはずしてください。

3 脚カフを本体からはずす

- 接続プラグのツマミを押しながら、脚カフをエアーコンセントから抜いてください。



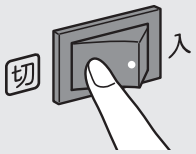
お願い

- 接続プラグを抜くときは、ホースを持たずに必ず接続プラグを持って抜いてください。

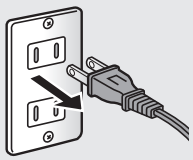
4 電源を切る

電源スイッチを切る

- 電源スイッチは本体足元左側面にあります。
- リモコンの主電源ランプが消えます。



電源プラグをコンセントから抜く



ヒーターを使うとき

- ヒーターのみ、またはマッサージと同時に使用できます。
- 除湿と同時に使用できません。

⚠警告

気をつける

次の人がヒーターを使用するときは、まわりの人が特に気をつける

低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。

- お年寄り、ご病人、ご自分で操作ができない人
- 皮膚や皮膚感覚の弱い人
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人
- 深酒・疲労の激しい人　● 血行障害（糖尿病など）の人
- 医師より注意を受けている人

禁止

ヒーターは設定温度「高」で長時間使用しない
また、同一箇所に長時間触れさせない

比較的低い温度（40 ～ 60℃）でも、長時間皮膚の同じ箇所に触れていると、低温やけどのおそれがあります。

⚠注意

禁止

湯たんぽ、電気こたつ、電気あんか、その他の暖房器具や布団乾燥機などと併用し、高温になる状態で使用しない

火災や変形、変色、故障の原因になります。
本体内部の保護装置が動作し、通電を停止することがあります。この場合、約2時間後に復帰します。

禁止

ヒーターはペットの暖房用には使用しない

ペットが本体やコードを傷めた場合、火災の原因になります。

1 ヒーターを開始する

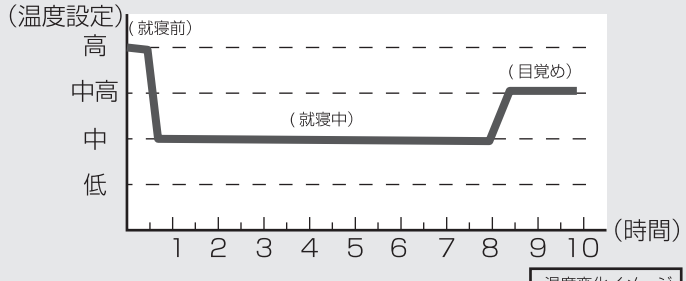
ヒーター **「ヒーター」ボタンを押し、お好みの温度に設定する**

- 「ヒーター」ボタンを押すたびに「自動」→「低」→「中」→「中高」→「高」→「切」の順に切り替わります。
- 選択した温度の表示ランプが点灯します。
- 「入」にしてから約10時間で自動的に停止します。

設定温度「自動」　設定温度「低」　設定温度「中」　設定温度「中高」　設定温度「高」　設定温度「切」

設定温度「自動」について

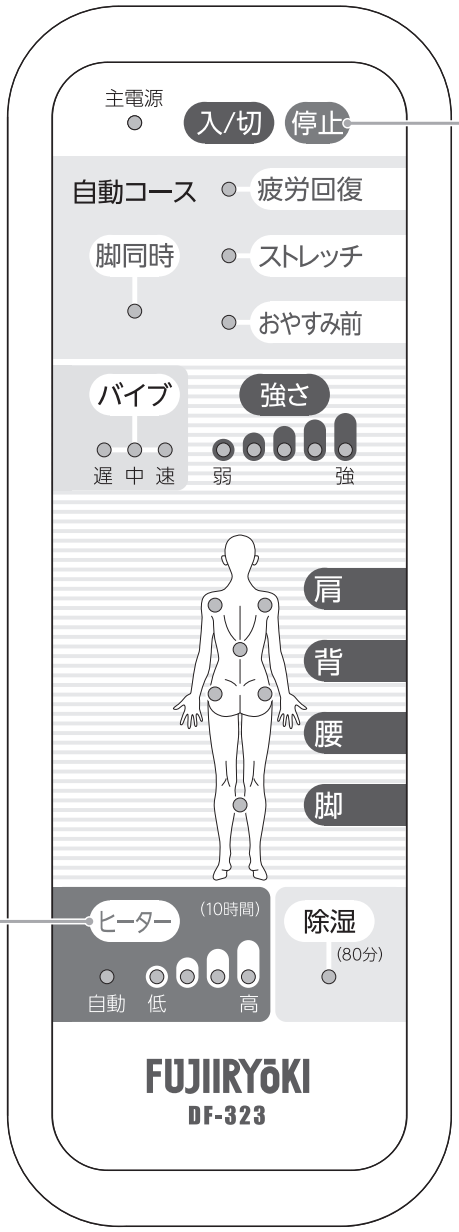
時間によって温度を変化させ、布団を快適な温度に温めます。



温度変化イメージ

お知らせ

- 本体が冷たく感じる場合は、使用前に設定温度「高」を設定して1時間ほど温めた後、お好みの設定温度にして使用されることを、お勧めします。
- 寝汗をかいたり、のどがかわいたり、起きた後だるいときは、設定温度「中」以下に下げてご使用ください。（睡眠には体温より低い温度が適しています。）



タイマー機能について

●ヒーター開始後、約10時間で自動的にヒーターが停止します。

2 途中でヒーターを終了したいとき

ヒーター 「ヒーター」ボタンを押し、「切」にする

3 ただちにすべての動作を止めたいとき

停止 「停止」ボタンを押す

●「停止」ボタンを押すと、すべての動作が止まります。

ヒーター温度がぬるく感じる場合

ご購入直後や毎年使い始めには、ぬるく感じることがあります。これは、保管中に本体が湿気を含むためにおこります。
このようなときはヒーターを使用する前に、除湿を使用するか（P22参照）、本体を温める時間を長くしたり、設定温度を高めにしてご使用ください。

ご使用例	使用前に本体を温める時間	就寝時の温度設定
通　常	設定温度が「高」で約1時間	自動コース もしくは 設定温度「中〜中高」
使い始めにぬるく感じるとき	設定温度が「高」で約2〜3時間	

除湿を使うとき

●他の機能と同時に使用できません。

⚠警告

禁止

除湿使用時は人やものが乗った状態では使用しない

ヒーターの温度設定が「高」の固定になり、長時間の使用で低温やけどのおそれがあります。

除湿について

●ヒーターの熱とエアーの排気により、マット内の湿度を下げる機能です。
動作中は、ヒーターの温度が「高」の設定になり、15 分間隔でエアーが排出されます。

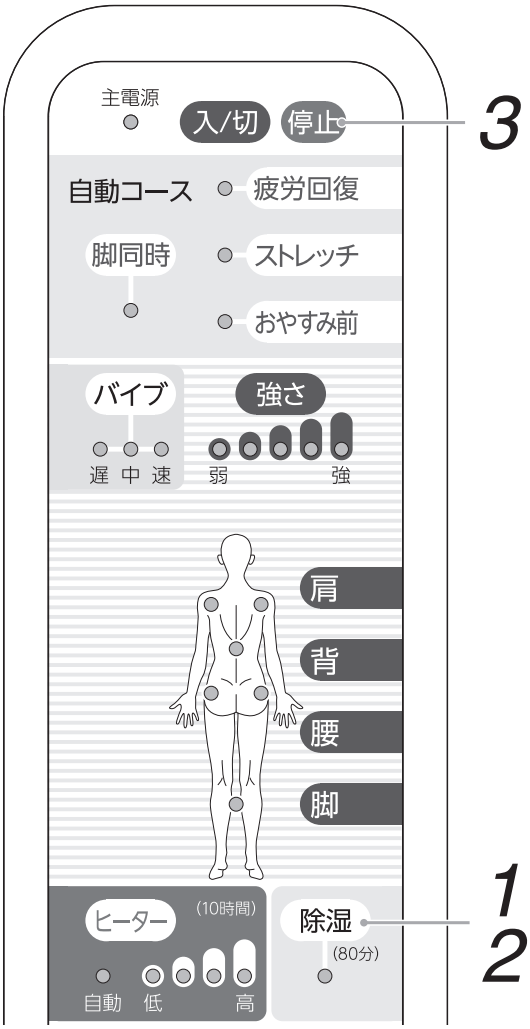
タイマー機能について

●**除湿開始後、約80分で自動的に除湿が停止します。**

お願い

●湿気の多い時期は、床に接する裏面の湿気がとれにくく、結露が起きることもあります。除湿に加え、時々裏返して、日の当たらない風通しの良い場所に広げて干してください。
（除湿は、エアーの排気によりマットの内部の湿気を外に押し出す構造で床に接する裏面から風は出ません。）

●裏返したり折り曲げたまま、除湿を使用しないでください。



1 除湿を開始する

除湿 「除湿」ボタンを押す

●「除湿」ボタンを押すたびに「入」→「切」が切り替わります。

●他の機能が動作している状態では使用できません。

2 途中で除湿を終了したいとき

除湿 「除湿」ボタンを押す

●除湿動作中に「入/切」ボタンを押して、マッサージを始めても除湿が切れます。

3 ただちにすべての動作を止めたいとき

停止 「停止」ボタンを押す

●「停止」ボタンを押すと、すべての動作が止まります。

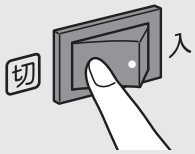
あとかたづけ

本体

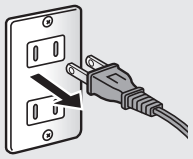
1 電源を切る

電源スイッチを切る

- 電源スイッチは本体足元左側面にあります。
- リモコンの主電源ランプが消えます。

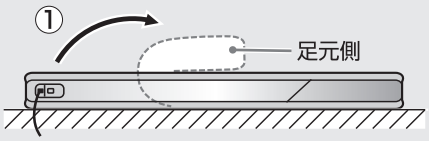


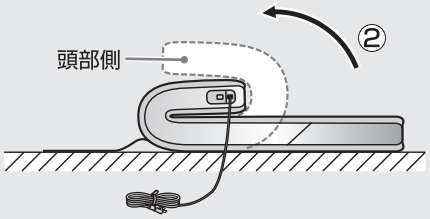
電源プラグをコンセントから抜く



2 本体を3つ折りにする

- 折り曲げるときは、マッサージ面を内側にして、足元側、頭部側の順に3つ折りにしてください。
- ゆっくりと折り曲げてください。
- 電源コードは必ず束ねてください。



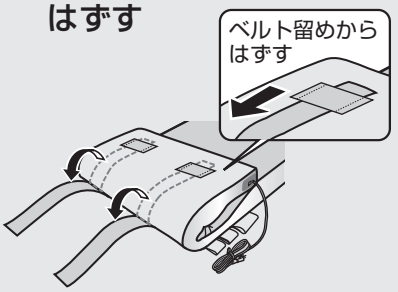


お願い

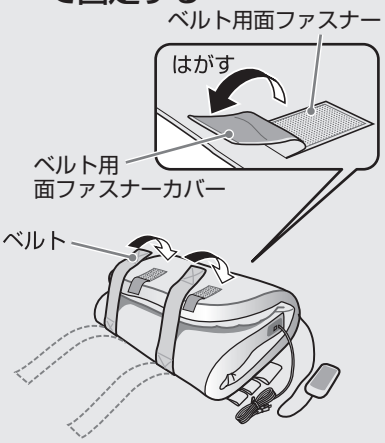
- 電源プラグやリモコンを本体の間に入れたまま折り曲げないでください。故障の原因になります。

3 ベルトを掛ける

①ベルト留めからベルトをはずす



②ベルトの先を面ファスナーで固定する



本体の移動のしかた

⚠注意

リモコンコード、電源コード、脚カフ接続ホースに足を引っ掛けないように気をつける

けがのおそれがあります。

禁 止

●必ず本体は折りたたみ、ベルトを掛けた状態で移動してください。
●本体の下側を２人で持って移動させてください。

お願い

- 本体に脚カフをつけたまま移動しないでください。
- 動作中に移動しないでください。
- 電源コードは必ず束ねてください。

お手入れ

⚠注意

禁止

駆動部、制御部、バイブ、リモコンを踏みつけたり、腰掛けたりしない

けがや破損・故障の原因になります。

禁止

ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、殺虫剤をかけない

感電や引火の原因になります。

禁止

本体を干すときは、もの干し竿などに干さない

落下によるけがや故障の原因になります。
干す場合は、日の当たらない風通しのよい場所に広げて干してください。

プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがのおそれがあります。

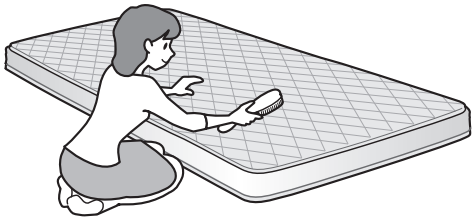
禁止

本体や脚カフを洗濯しない

故障や感電・火災の原因になります。
本体カバーが汚れた場合は、本体カバーをはずし、ドライクリーニングをしてください。
脚カフは、ドライクリーニングできません。

本体カバー、脚カフのお手入れ

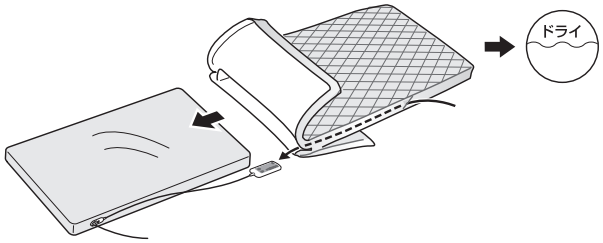
●本体カバー、脚カフの汚れは、中性洗剤または衣料専用のシミ抜きなどでブラシ洗浄したあと、水を含ませた布でふきとり、自然乾燥させてください。但し、使いすぎると布地を傷めることがあります。



●干す場合は、日の当たらない風通しの良い場所に広げて干してください。

お願い

- お手入れで汚れがとれない場合、本体カバーをはずし、ドライクリーニングをしてください。
- 布団乾燥機は、使用しないでください。

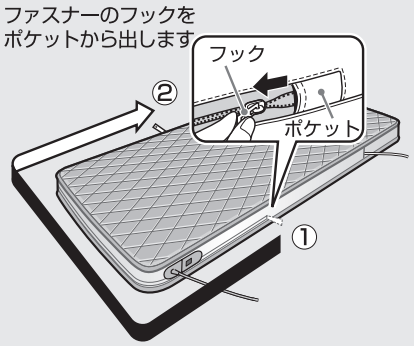


本体カバーをクリーニングしたいとき

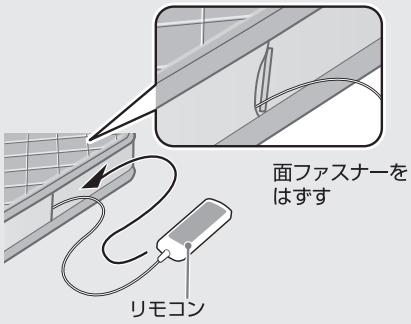
●本体カバーをはずし、ドライクリーニングをしてください。

本体カバーのはずしかた

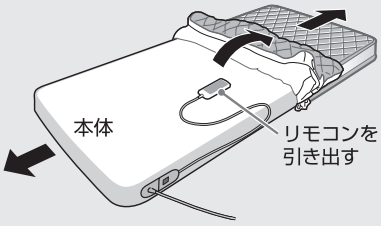
1 ファスナー①を②まで移動する



2 リモコンを本体カバーの中に入れます

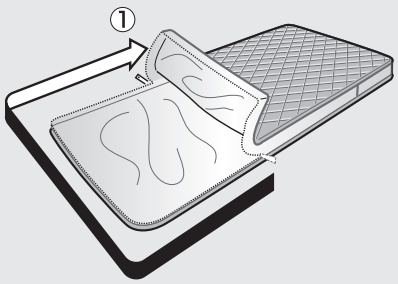


3 本体カバーを開き本体を引き抜く

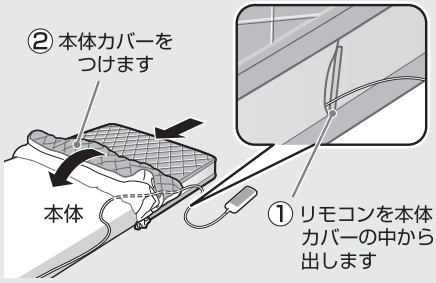


本体カバーのつけかた

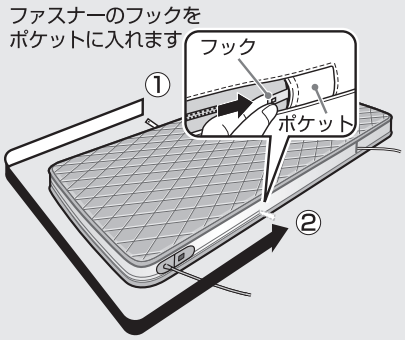
1 ファスナー①を下図の位置にしておく



2 本体に本体カバーをかぶせる



3 ファスナー①を②までしめる



保 管

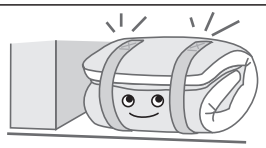
⚠注意

禁 止

駆動部、制御部、バイブ、リモコンを踏みつけたり、腰掛けたりしない

けがや破損・故障の原因になります。

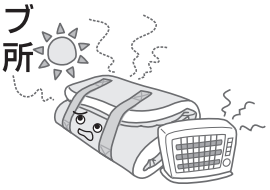
3つ折りにしてベルトを掛けて保管してください。



3つ折りにした状態で、本体に人やものを乗せたり、腰掛けたりしないでください。

直射日光が当たる所、ストーブなどの近くで直接高温になる所はさけてください。

（布地の変色の原因になります。）

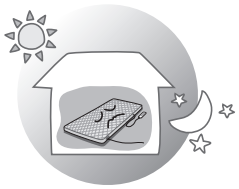


汚れやほこりを取り除いた後、湿気の少ない所に水平に置いて保管してください。

（保管状態が悪いと、カビやシミ、故障 の原因になります。）

本体を長期間同じ場所に広げたままにしないでください。

（カビ発生の原因になります。）



仕 様

品名		エアーマッサージ器	形名	DF-323	
類別		機械器具　77　バイブレーター			
一般的名称		家庭用電気マッサージ器（コード 34662000）			
医療機器認証番号		225AKBZX00094000			
定格	電源	AC100V　50/60Hz			
	時間	30 分（エアーマッサージ・バイブ）			
	消費電力	電気マッサージ器と電気布団の同時動作時	電気マッサージ器	電気布団	
		100W	39W	75W	
待機電力		4W			
機能		「自動コース」：疲労回復、ストレッチ、おやすみ前			
		「部位選択」：肩、背、腰、脚			
		「バイブ」：遅、中、速			
オートタイマー		マッサージ：約 15 分	ヒーター：約 10 時間	除湿：約 80 分	
エアーマッサージの強さ		「弱」～「強」の 5 段階			
		エアー圧力：約 65kPa	脚カフ圧：約150N（「強」の場合）		
ヒーター温度調節		「自動」、「低」～「高」の 4 段階			
ヒーターマット表面温度		約 30℃（ヒーター設定温度「中」の場合）	約 50℃（ヒーター設定温度「高」の場合）		
標準消費電力量（1 時間当たり）		約 30Wh（ヒーター設定温度「中」の場合）	約 60Wh（ヒーター設定温度「高」の場合）		
発熱体		ビニール被覆式ヒーター			
素材		本体カバー　生地：ポリエステル 100%	充填物：ウレタンフォーム		
寸法		約幅 950mm× 長さ 2000mm× 厚さ 80mm			
脚カフ対応寸法		ふくらはぎ周長 約 280 ～ 430mm			
質量（重さ）		約 14kg			
電源コード		約 2.3m	リモコンコード	約 1.0m	
付属品		脚カフ、専用シーツ（CF-17SC）※消耗品			
製造販売元		株式会社フジ医療器 住所：大阪府南河内郡太子町太子 2372-95			
製造元		株式会社フジ医療器　大阪工場			
		ANHUI　JIUGONG　SCIENCE&TECHNOLOGY INDUSTRY CO.,LTD (CHINA) 安徽久工科技实业有限责任公司（中国）			

修理サービスを依頼する前に

⚠警告

分解・改造・修理をしない
また、内部カバーのファスナーを開けない

分解禁止　火災や感電・けがの原因になります。

使用中に下記のような音がありますが、構造上発生するもので、機能などに影響ありません。

- マッサージ部位の切り替えのカチ音
- エアーを排気するときのプシュー音
- ポンプが動くときのブーン音
- エアーバッグと布のすれる音
- バイブの動作音（左右で音が異なる場合があります）

使用中に異常が生じたときは次の点をお調べください。

こんなとき	次の点をお調べください。	
動作しない	●電源プラグが抜けていませんか。	→電源プラグをコンセントに入れてください。P12
	●マッサージを30分以上使用していませんか。	→本体内部の保護装置がはたらいています。2 時間ほど待ってから使用してください。P10
	●タイマーがはたらき、停止した状態になっていませんか。	→もう一度リモコン操作をしてください。P14
	●電源スイッチが「切」になっていませんか。	→電源スイッチを「入」にしてください。P8
リモコンが正常に動作しない	●電源の状態等により誤動作している可能性があります。	→電源プラグを一旦コンセントから抜いてもう一度コンセントへ差し込んでください。P12
ヒーターが暖かくならない（ヒーターが入らない）	●ヒーターが「切」になっていませんか。	→（ヒーター）を押して、お好みの温度に設定してください。（選択した設定温度ランプが点灯します。）P20
足元の制御部が温かくなる	●使用中、または使用後であっても電源スイッチが入っていると制御部は温かくなります。（待機電力が消費されるため）	→使用後は電源スイッチを切ってください。P19 P23 制御部は温かくならず、節電になります。
脚カフが動かない	●脚カフを接続していますか。	→接続プラグを脚カフ用エアーコンセントに差し込んでください。P13
	●脚同時を押していますか。	→自動コース動作中に、（脚同時）を押してください。（「おやすみ前」コースは使用できません。）P14

愛情点検

愛情点検
長年ご使用の場合は点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

⚠注意

しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する。

確認する　事故やけがのおそれがあります。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

●保証書（別に添付してあります。）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 **添付の保証書に記載**

●補修用性能部品の保有期間

当社はこのエアーマッサージ器の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

27ページに従ってしらべていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

●保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。

(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。)

●その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。

修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

0120 フリーダイヤル

0120-027-612

受付：月曜～金曜　午前9時～午後5時30分

※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号 06-6644-9103

E-mail フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受付けております。

フジ医療器ホームページ http://www.fujiiryoki.co.jp

FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

地球の環境保護の為、破棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めに従ってください。

美と健康の総合メーカー
株式会社 フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL

2013年12月27日（第2版）